

金ヶ崎周辺整備構想

敦賀ノスタルジアム

金ヶ崎周辺地区は、海路と陸路の中継地点、東洋の波止場と呼ばれ、現存する豊富な歴史的建造物が往時の「港まち敦賀」を今に伝えています。これらの資源を活かしながら、多くの市民や観光客が足を運ぶ居心地の良い空間として整備するため、「金ヶ崎周辺整備構想」を策定しました。



【全体コンセプト】

敦賀ノスタルジアム

最も輝かしい時代の港の雰囲気や、郷土への愛着、異国情緒を味わうことのできるノスタルジックな空間

赤レンガ倉庫やランプ小屋といった歴史的施設を有した金ヶ崎全体を博物館に見立てたミュージアム空間

整備構想の概要

金ヶ崎周辺整備の考え方

1 居心地の良い空間作り 市民意向の反映

策定委員会だけでなく、市民ワークショップや市民シンポジウムなどで得た市民の幅広い意見が集約されています。

2 恵まれた地域資源の活用

赤レンガ倉庫、ランプ小屋、「人道の港」にまつわるエピソード等を活かしたまちづくりを行います。

3 明治後期～昭和初期を意識

敦賀は鉄道と港により発展してきました。金ヶ崎周辺が最も賑わい、近代化に大きな役割を果たした時代を強く意識しています。



金ヶ崎周辺の往時の街並み

4 民間活力の導入による賑わい創出

民間事業者による飲食機能や物販機能の導入は、憩いや交流を促進する上で重要な要素となるため、事業者の参入しやすい環境づくりが重要です。

整備構想の実現に向けて

次の3段階に分けて整備を進めるとしています。

【フェーズ1 (第1段階)】

初期期の取組みとして、現段階でできることから着手するとしています。

▼近代化遺産の保全、活用に対する市民意識の醸成

▼赤レンガ倉庫の耐震補強および利活用の検討

▼ソフト事業の充実



赤レンガ倉庫活用イメージ図

【フェーズ2 (第2段階)】

主に市民憩いのガーデンスペースとして、多世代がゆっくりと憩うことができる快適な「緑の公園」の創出を図るとしています。

【フェーズ3 (第3段階)】

民間活力主体による飲食物販等の立地を期待し、「東洋の波止場」と呼ばれた往時の街並みの再現により、「敦賀ノスタルジアムワープ」の実現を目指すとしています。

*詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。

気比の松原にて 8月16日(木)

荒天中止 (小雨決行)
とうろう流し 18時30分～
花火大会 19時30分～

第63回 とうろう流しと大花火大会

敦賀・大いなる旅路 ～それは想像を超える感動体験～

今年の花火大会は『つるが「鉄道と港」フェスティバルイヤー』に合わせて花火による鉄道の旅に皆さんをお連れします。

パラシュート花火が街灯のように漂いながら会場を照らし、一面をレトロ感満載にして花火大会が始まります。夜空を縦横無尽に走る「ドラゴンコースター」や20号玉の満月と虹のアーチによる奇跡の景観、地割花火と20号玉による大迫力のフィナーレなど敦賀の花火ならではのドキドキワクワクの内容になっています！

メッセージ花火の募集

家族・友人・恋人への日頃の気持ち、結婚のお祝い、子供の誕生祝い等「誰かに伝えたいメッセージ」を募集して、メッセージのアナウンスと共に花火を打上げます。

※募集枠 10組

(申込多数の場合は抽選)

※受付期間 7月31日(火)まで

※参加費 10,000円

※申込方法

①電話連絡後、FAX、メール等で仮受付(住所、名前、連絡先、メッセージ等を確認)

②(社)敦賀観光協会にある申込書に住所、氏名、メッセージ内容、電話番号等を記載し正式に受付

③参加費の納入をもって本受付参加費の納入方法

次のいずれかでお願います。

①金融機関で振込用紙に必要事項を記入し振込(振込手数料は各自負担)

②(社)敦賀観光協会にて現金書留で送付

③(社)敦賀観光協会に直接持参

※申込みは1人1メッセージ

※市民以外(市外・県外者)も申込み可

※メッセージ花火の参加者氏名およびメッセージは新聞広告等に掲載します。(匿名、非掲載可)

とうろうの販売について

【販売場所】
松原公園
松原駐車場
当日の混雑を避けるため今年も事前販売を行います。

【事前販売】
8月15日(水) 10時～16時

松原公園販売所(松原小学校横)
※寺院でお求めの「とうろう引き換え券」との交換については、8月15日(水)から行います。



※今年もA席に市民観覧席を設けます。詳しくは下記までお問い合わせください。

日本海側最大級13,000発の花火と6,000個のとうろうが、名勝「気比の松原」を彩ります